

科目名	福祉心理学			担当教員	後藤 綾文	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング		
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験	臨床心理士、公認心理師					
実務経験を生かした授業内容	臨床心理士、公認心理師としての経験を活かし、福祉領域における心理的問題やその支援について講義する。					
到達目標及びテーマ	以下の点について理解することが到達目標である。（１）福祉現場において生じる問題及びその背景 （２）福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援 （３）虐待および認知症についての基本的知識。					
授業の概要	社会福祉の主な対象として考えられる高齢者や障がい者、社会的支援を受ける児童等、生きるうえで弱い立場に置かれがちな人びとに対する適切な支援について学ぶ。					

授業計画	
第1回	社会福祉の歴史と動向
第2回	福祉現場における活動と倫理
第3回	福祉における心理アセスメントと心理学的支援
第4回	児童福祉分野の活動（外部講師による講義）
第5回	家庭福祉分野の活動（外部講師による講義）
第6回	高齢者福祉分野の活動
第7回	障害者福祉分野の活動
第8回	虐待および認知症についての基本的知識

事前学修		前回の授業の最後に、次回の内容を伝え、参考図書等の該当部分について指摘しておくので、必ず読んでおくこと。
事後学修		毎回の授業後に、疑問に感じたことや考えたことなどを自分の意見としてまとめること。
フィードバックの方法	課題、試験に対して希望があれば個別に口頭でのフィードバックの機会を設ける。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない
レポート		75%	外部講師による講義の感想レポート、福祉心理学を生かした支援についてのレポートなどを課す
上記以外の試験・平常点評価		25%	毎回の課題に対する取り組みにより評価する。
補足事項			

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。			